



重量挙げ少年男子の塚田直人旗手を先頭に入場する栃木県選手団

総合開会式

会期 令和4年10月1日(土)

会場 カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の総合開会式が、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、令和4年10月1日、カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)で開催されました。国体は新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催で、栃木県での開催は「栃の葉国体」以来42年ぶりとなりました。会場には感染対策を万全にした上で約7300人の県民らが詰め掛け、選手団をはじめ式典演技の出演者、ボランティアなども合わせて約1万8千人が集まりました。大歓声の中、各都道府県の選手団が堂々とした入場行進を行い、選手を代表して栃木県の榎崎智亜選手(スポーツクライミング)と狐塚美樹選手(ホッケー)が力強く宣誓しました。また、式典前のオープニングプログラムや式典演技、エンディングプログラムが11日間にわたる大会の幕開けを華やかに彩りました。



天皇皇后両陛下の御臨席



栃木県選手団の入場



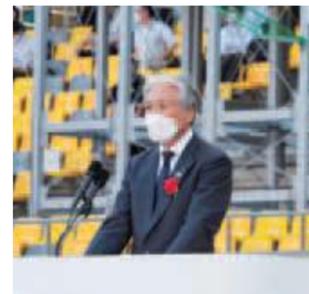
オープニングプログラム
チアパフォーマンス



オープニングプログラム 八木節



スポーツクライミングの榎崎智亜選手(左)と
ホッケーの狐塚美樹選手による代表宣誓



福田富一知事が開会宣言



オープニングプログラム ダンス



オープニングプログラム 和太鼓演奏



炬火点火



式典演技



式典演技



ブルーインパルス祝賀記念飛行



式典演技



式典演技



式典演技 フィナーレ



式典演技 いちご一会ダンス



式典演技



車椅子バスケットボールチーム「Tochigiレイカーズ」の
技披露



サッカートラックアウト実演



大島美幸さん、U字工事らによる楽しいトーク



いちご一会とちぎ国体総合開会式で歓迎に笑顔でお応えになる天皇皇后両陛下
(令和4年10月1日・カンセキスタジアムとちぎ)

行幸啓・お成り

天皇皇后両陛下のいちご一会とちぎ国体総合開会式への御臨席，秋篠宮皇嗣同妃両殿下のいちご一会とちぎ大会開会式への御臨席をはじめ，とちぎ国体，とちぎ大会の開催期間中，皇族の方々が宇都宮市内で開催された式典・競技を御覧になったほか，市内の施設を御視察されました。



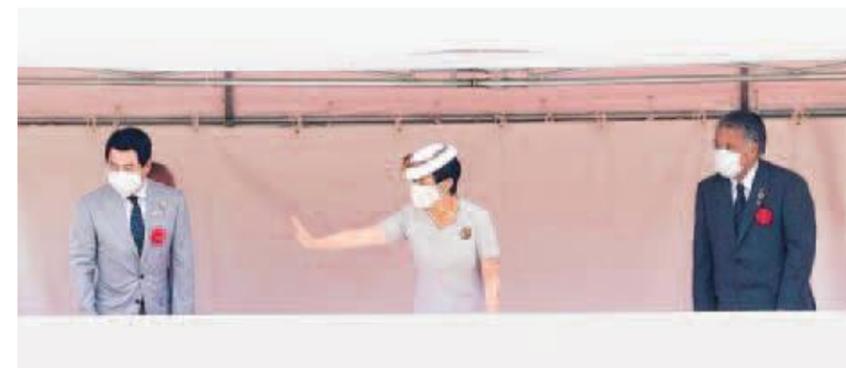
いちご一会とちぎ国体総合開会式会場のカンセキスタジアムとちぎに御臨席された天皇皇后両陛下 (令和4年10月1日)



いちご一会とちぎ国体総合閉会式会場 (カンセキスタジアムとちぎ) に御臨席された佳子内親王殿下 (令和4年10月11日)



JR宇都宮駅に御到着された瑠子女王殿下
(令和4年10月4日)



いちご一会とちぎ国体サッカー競技場の栃木県グリーンスタジアムに御到着された高円宮妃殿下
(令和4年10月4日)



いちご一会とちぎ国体自転車競技会場の宇都宮競輪場に御到着された高円宮妃殿下 (令和4年10月5日)



いちご一会とちぎ国体の柔道競技を御覧になる寛仁親王妃信子殿下
(令和4年10月9日・ユウケイ武道館)



いちご一会とちぎ国体剣道競技を御覧になる瑠子女王殿下
(令和4年10月5日・ユウケイ武道館)



ホテル東日本宇都宮に御到着された彬子女王殿下
(令和4年10月6日)



JR宇都宮駅に御到着された承子女王殿下
(令和4年10月8日)



大谷の「夏いちご栽培ハウス」を御覧になる佳子内親王殿下
(令和4年10月10日)



栃木県立博物館を御視察される高円宮妃殿下 (令和4年10月5日)



遠的成年女子で優勝を飾った栃木県チームのアリ・マリヤム選手(左)、滝田実優選手(中)、犬塚友佳子選手(右)



弓道

会期 令和4年9月10日～13日

会場 ユウケイ武道館 (栃木県総合運動公園武道館)

弓道は、会期前競技として9月10日から13日までユウケイ武道館(栃木県総合運動公園武道館)で開催されました。栃木県チームは、成年女子が遠的で県勢初となる優勝に輝いたほか、近的でも5位入賞の活躍を見せました。また、少年女子が遠的で3位、少年男子が遠的で4位、成年男子が近的で6位と全種別で入賞を果たし、競技別男女総合成績で準優勝を飾りました。

競技結果 (男女総合成績)

1位	愛知県	2位	栃木県
3位	鹿児島県		



ユウケイ武道館 近的弓道場



ユウケイ武道館 遠的弓道場



遠的少年女子で3位入賞を果たした大町恵未選手(左)、小池輝来々選手(中)、橋壁良奈選手(右)



遠的成年女子の決勝に臨む左からアリ・マリヤム選手(左)、滝田実優選手(中)、犬塚友佳子選手(右)



遠的少年男子で4位入賞を果たした石川碧輝選手(左)、坂本翔選手(中)、久保田匠選手(右)



近的成年男子で6位入賞を果たした柿崎雅哉選手(左)、寺崎隼登選手(中)、五十嵐翔選手(右)



総合表彰式



的中の確認作業



矢渡し



特別演武



納射



表彰状を掲げ笑顔を見せる栃木県の成年男女チーム



少年男子チーム



少年女子チーム



成年男子・団体総合で優勝を飾った栃木県チーム



体操(体操競技)

会期 令和4年9月10日～13日

会場 日環アリーナ栃木メインアリーナ (栃木県総合運動公園メインアリーナ)

体操競技は、会期前競技として9月10日から13日まで日環アリーナ栃木メインアリーナ(栃木県総合運動公園メインアリーナ)で開催されました。栃木県勢は、成年男子団体総合で優勝、成年女子団体総合と少年男子団体総合で準優勝に輝き、少年女子団体総合も11位と健闘しました。この結果、栃木県は新体操、トランポリンを合わせた体操競技として初の総合優勝を達成しました。

競技結果(男女総合成績)

1位	栃木県	2位	千葉県
3位	埼玉県		



優勝した成年男子の栃木県チーム・青木翔汰選手のあん馬



成年女子・団体総合で準優勝の栃木県チーム



戦いを終えて笑顔を見せる少年女子の栃木県チーム



少年男子・団体総合で準優勝した谷田雅治選手のつり輪の演技



少年女子・安里れみ選手のゆかの演技



優勝した成年男子・山本威吹選手の平行棒の演技



会心の演技にハイトッチ



少年男子・団体総合準優勝の栃木県チーム



少年男子・杉山諒将選手のゆかの演技



日環アリーナ栃木メインアリーナ



表彰式で笑顔を見せる成年女子・団体総合準優勝の栃木県チーム



少年女子・伊藤凜選手の平均台の演技



真塩柑菜選手(左)・金山桃子選手ペアの演技



水泳(アーティスティックスイミング)

会期 令和4年9月11日

会場 日環アリーナ栃木屋内水泳場 (栃木県総合運動公園屋内水泳場)

アーティスティックスイミング(AS)は、会期前競技として9月11日に日環アリーナ栃木屋内水泳場(栃木県総合運動公園屋内水泳場)で開催されました。栃木県は、少年女子デュエットの真塩柑菜選手と金山桃子選手の中学生ペアがテクニカルルーティンで自己ベストを更新し、16位になりました。

[AS] 競技結果

1位	愛知県	2位	京都府
3位	東京都	16位	栃木県



真塩柑菜選手(左)と金山桃子選手



日環アリーナ栃木屋内水泳場



演技に臨む真塩・金山ペア



ポーズをとる真塩柑菜選手(右)と金山桃子選手



真塩・金山ペアの演技



真塩・金山ペアの演技



各県の選手たちの入場



競技役員をサポートする競技補助員



表彰式

TECHNICAL ROUTINE						
B 栃木県						
Exec	6.8	6.3	6.9	6.8	6.7	20.3000
Imp	6.7	6.8	6.8	7.1	6.9	20.5000
Elem	#1	6.5	6.9	6.6	7.0	6.8
	#2	6.7	7.1	6.9	7.2	7.0
	#3	6.6	7.0	6.5	6.9	6.8
	#4	6.4	6.6	6.4	6.6	6.5
	#5	6.5	6.7	6.6	6.8	6.7

会場の大型映像表示



選手の演技を採点



多くの人で賑わう日環アリーナ栃木



成年男子飛板飛込優勝の須山晴貴選手



水泳(飛込)

会期 令和4年9月13日～15日

会場 日環アリーナ栃木屋内水泳場（栃木県総合運動公園屋内水泳場）

飛込は、会期前競技として9月13日から15日まで日環アリーナ栃木屋内水泳場（栃木県総合運動公園屋内水泳場）で開催されました。栃木県は、成年男子飛板飛込に出場した須山晴貴選手が自身二度目となる優勝を飾るとともに、成年男子高飛込では3位入賞を果たしました。また、東京五輪代表の榎本遼香選手が成年女子飛板飛込で準優勝、成年女子高飛込では4位に入賞するなど各選手が健闘し、栃木県は飛込の総合成績で兵庫県と並んで1位となりました。



日環アリーナ栃木屋内水泳場

[飛込] 競技結果 (男女総合成績)

1位	栃木県	1位	兵庫県
3位	茨城県	3位	島根県



成年女子飛板飛込準優勝の榎本遼香選手の演技



少年女子飛板飛込9位の関野恵衣選手



少年女子高飛込8位の田所三夏姫選手



スタンドから熱い視線を浴びたオリンピック選手玉井陸斗選手



競技終了後のエキシビション



演技を採点する競技役員



成年男子飛板飛込で優勝し、表彰台に立つ須山晴貴選手



競技後の交流



成年女子飛板飛込で準優勝し、表彰台に立つ榎本遼香選手



笑顔でガッツポーズする榎本遼香選手



エキシビション終了後の記念撮影



成年男子100mバタフライ優勝の水沼尚輝選手



水泳(競泳)

会期 令和4年9月17日~19日

会場 日環アリーナ栃木屋内水泳場 (栃木県総合運動公園屋内水泳場)

競泳は、会期前競技として9月17日から19日まで日環アリーナ栃木屋内水泳場(栃木県総合運動公園屋内水泳場)で開催されました。栃木県勢は、成年男子100mバタフライで今夏の世界選手権銀メダリストの水沼尚輝選手が初優勝。少年男子A400m個人メドレーの松下知之選手が自己ベストで準優勝、同50m自由形の蓮沼椋祐選手が3位に入るなど、会期前を大いに盛り上げました。



日環アリーナ栃木屋内水泳場

[全体] 競技結果 (男女総合成績)			
1位	東京都	2位	神奈川県
3位	大阪府	12位	栃木県
[競泳] 競技結果 (男女総合成績)			
1位	東京都	2位	神奈川県
3位	大阪府	14位	栃木県



表彰式で観客席に手を振る水沼尚輝選手



各種目で熱いレースを展開



スタンドから応援する栃木県選手団



少年男子A500m自由形で3位の蓮沼椋祐選手(中央)



少年男子A400m個人メドレーで準優勝の松下知之選手



瀬戸大也選手(中央)らスター選手が勢ぞろい



レースに熱い視線が注がれる



表彰式でガッツポーズの松下知之選手



表彰を受ける蓮沼椋祐選手



注目を集めた池江璃花子選手



気合を入れる栃木県の選手たち



成年男子種別で5位入賞した栃木県チーム



サッカー

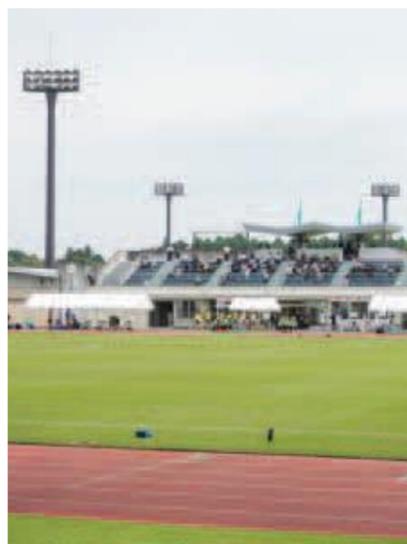
会期 令和4年10月2日～6日

会場 宇都宮市=栃木県グリーンスタジアム, 宇都宮市河内総合運動公園陸上競技場

サッカーの宇都宮市会場(栃木県グリーンスタジアム, 宇都宮市河内総合運動公園陸上競技場)では、10月2日から5日まで成年男子種別の競技が行われ、各チームが熱戦を繰り広げました。栃木県チームは1回戦で対戦した佐賀県に3-0と快勝して準々決勝に進出。岐阜県と0-0の接戦を演じた末にPK戦で敗れ、5位入賞となりました。

競技結果(男女総合成績)

1位	埼玉県	2位	東京都
3位	静岡県	7位	栃木県



宇都宮市河内総合運動公園陸上競技場



栃木県グリーンスタジアム



キックオフの前に円陣を組む栃木県チーム



栃木県チームの室崎雄斗選手がシュートを決める(1回戦 佐賀戦)



栃木県チームの古谷三国選手(中央)がドリブルで切り込む(1回戦 佐賀戦)



激しい空中戦を展開(1回戦 佐賀戦)



栃木県チーム堀田利明監督らから指示を受ける選手たち



得点に沸く栃木県チーム(1回戦 佐賀戦)



成年男子で優勝した大分県



選手たちをのぼり旗でお出迎え



地元のまちづくり協議会がゴボウ汁でおもてなし



成年男子準優勝の岐阜県



成年女子 森崎可南子選手



成年女子 今西美晴選手



テニス

会期 令和4年10月2日～5日

会場 宇都宮市屋板運動場庭球場
栃木県総合運動公園テニスコート

テニスは、10月2日から5日まで宇都宮市屋板運動場庭球場と栃木県総合運動公園テニスコートで開催されました。栃木県勢は、少年男女はともに1回戦を突破しましたが、2回戦で敗退。成年男子は1回戦で涙をのみました。成年女子では森崎可南子選手と今西美晴選手が準々決勝に進出し、栃木県勢として過去最高の5位入賞を果たしました。

競技結果（男女総合成績）

1位	埼玉県	2位	東京都
3位	愛知県	12位	栃木県



宇都宮市屋板運動場庭球場



栃木県総合運動公園テニスコート



少年女子 石井絢選手(右)と平野愛実選手



成年男子 川橋勇太選手



少年男子 石橋万佐希選手



少年女子 石井絢選手(左)と平野愛実選手



少年男子 笹本龍哉選手



成年男女メンバー



成年男子 柚木武選手



監督のアドバイスに笑顔



笑顔で整列する少年男子チーム



少年男子1回戦で香川県を破った栃木県チーム



バスケットボール

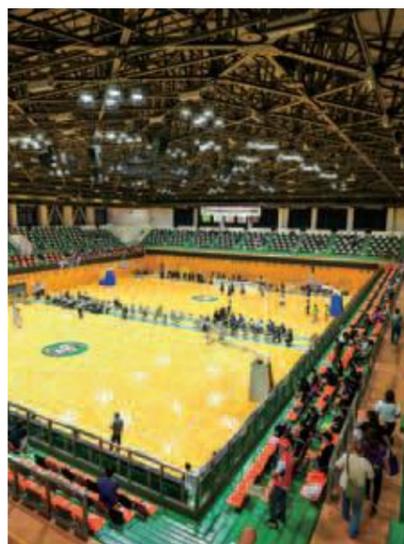
会期 令和4年10月2日～6日

会場 日環アリーナ栃木メインアリーナ(栃木県総合運動公園メインアリーナ)・宇都宮市体育館
日環アリーナ栃木サブアリーナ(栃木県総合運動公園サブアリーナ)

バスケットボールは、10月2日から6日まで日環アリーナ栃木メインアリーナ(栃木県総合運動公園メインアリーナ)、宇都宮市体育館、日環アリーナ栃木サブアリーナ(栃木県総合運動公園サブアリーナ)の3会場で熱戦を展開。少年男子の栃木県チームは1回戦で香川県に快勝したものの、2回戦で福岡県に敗れました。少年女子と成年男女の栃木県チームはいずれも初戦で涙をのみました。

競技結果(男女総合成績)

1位	愛知県	2位	東京都
3位	大阪府	24位	栃木県



宇都宮市体育館



日環アリーナ栃木メインアリーナ



少年男子・栃木県 石川晃希選手がゴールを狙う(1回戦 香川戦)



少年男子・栃木県 伊澤亨知選手がシュートを狙う(2回戦 福岡戦)



少年女子・栃木県 河津春香選手がシュートを狙う(2回戦 宮城戦)



成年女子・栃木県 田中平和選手がジャンプシュートを狙う(1回戦 山形戦)



成年男子栃木県チーム



成年男子・栃木県 根本大選手がドリブルで切り込む(1回戦 愛媛戦)



成年女子栃木県チーム



少年男子で優勝した茨城県チーム



少年女子栃木県チーム



少年女子で優勝した愛知県チーム



成年男子大将・大島朗央選手がメンを狙う(決勝 神奈川戦)



剣道

会期 令和4年10月3日～5日

会場 ユウケイ武道館(栃木県総合運動公園武道館)

剣道は、10月3日から5日までユウケイ武道館(栃木県総合運動公園武道館)で熱戦を展開しました。栃木県勢は成年男女、少年男女の全4種別を制覇し、初の男女総合優勝と女子総合優勝を成し遂げました。成年男子は決勝で神奈川県に4-1と快勝して初優勝。成年女子は初戦からの4試合を全員が無敗で勝ち上がり初の女王に。少年男子は42年ぶり2度目、少年女子は初の栄冠となりました。

競技結果(男女総合成績)

1位	栃木県	2位	神奈川県
3位	秋田県		



ユウケイ武道館



全種別制覇を成し遂げた栃木県チーム



開始式であいさつする佐藤栄一市長



成年男子副将・藤原真児選手がメンを狙う(1回戦 愛知戦)



成年女子先鋒・竹中美帆選手が激しく攻める(1回戦 北海道戦)



少年女子副将・大河原香選手は勝利で優勝に貢献(決勝 秋田戦)



少年男子副将・藤田将人選手は3勝目を挙げる(決勝 茨城戦)



成年女子大将・関口祥子選手がメンを狙う(準決勝 神奈川戦)



表彰式に臨む成年女子の栃木県チーム



少年男子の栃木県チーム



少年女子の栃木県チーム



表彰状を手に笑顔を見せる成年男子の栃木県選手ら



成年男子ポイントレースで優勝を飾った貝原涼太選手(先頭)



自転車(トラックレース)

会期 令和4年10月5日～9日

会場 宇都宮競輪場

自転車は、10月5日から9日まで県内2会場でトラックレース、ロードレースが開催されました。宇都宮競輪場を舞台にしたトラック種目では、栃木県の貝原涼太選手が成年男子ポイントレースで優勝を飾り、男子4^人チーム・パーシュートの栃木県チーム、女子500^mタイムトライアルの荒牧聖未選手、成年男子ケイリンの町田颯選手が準優勝するなど各選手が活躍。本県チームは37年ぶりとなる競技別総合優勝の栄誉に輝きました。

競技結果(男女総合成績)

1位	栃木県	2位	静岡県
2位	京都府		



成年男子ポイントレース優勝の貝原涼太選手は表彰式でガッツポーズ



宇都宮競輪場



成年男子ケイリンで準優勝となりガッツポーズの町田颯選手



女子500^mタイムトライアルで準優勝した荒牧聖未選手



男子4^人チーム・パーシュートで準優勝の栃木県チーム



ローラー練習場



女子チームスプリントで3位に食い込んだ荒牧聖未選手(前)と普久原美海選手



男子チームスプリント8位入賞の栃木県チーム



女子スクラッチ決勝(8^人)。新沼杏葉選手は4位入賞



スタートに備える栃木県の選手たち



総合優勝の栃木県チーム



少年男子1^人タイムトライアルで5位入賞の阿久津仰祐選手



成年男子50口径ライフル三姿勢で3位入賞の小林郁弥選手

ライフル射撃



会期 令和4年10月6日～9日

会場 栃木県ライフル射撃場、栃木県総合教育センター体育館、栃木県警察学校射撃場

ライフル射撃は、10月6日から9日まで栃木県ライフル射撃場、栃木県総合教育センター体育館、栃木県警察学校射撃場の3会場で開催されました。栃木県勢は、成年男子50口径ライフル三姿勢の小林郁弥選手が3位、その妹で少年女子ビーム・ライフル立射(60発)に出場した小林和奈選手が4位と、兄妹そろっての入賞となりました。このほか、少年混合ビーム・ライフルで藤川暁匡選手と小林和奈選手が4位、井黒友斗選手が成年男子10口径エア・ライフル立射(60発)と同伏射(同)とともに5位に入るなど各選手の健闘が光りました。

競技結果(男女総合成績)

1位	埼玉県	2位	徳島県
3位	岐阜県、佐賀県	9位	栃木県



栃木県ライフル射撃場



栃木県総合教育センター体育館



栃木県警察学校射撃場



成年男子10口径エア・ライフル立射(60発)と同伏射(同)で5位入賞の井黒友斗選手



日本新の選手に協同組合宇都宮餃子会から宇都宮餃子100人前を贈呈



成年男子25口径センター・ファイア・ピストル(30発)で8位入賞の村山敦史選手(右)



少年女子10口径エア・ライフル立射(60発)で8位入賞の鈴木仁子選手



成年男子50口径ライフル三姿勢で3位入賞の小林郁弥選手(中央)



大盛況だったビーム・ライフル、ビーム・ピストル体験射撃



成年男子50口径ライフル膝射20発で7位入賞の上竹強仁選手(右から2番目)



警察音楽隊による出動演奏



警察車両の展示



成年女子・棒高跳優勝の諸田実咲選手



陸上競技

会期 令和4年10月6日～10日

会場 カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）

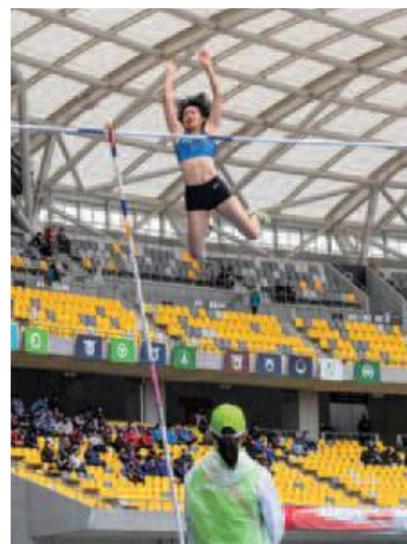
陸上競技は、10月6日から10日までカンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）で開催されました。栃木県勢は、成年女子棒高跳の諸田実咲選手が優勝、成年男子砲丸投の武田歴次選手と成年女子走高跳の竹内萌選手が準優勝、成年男子800㍍の根本大輝選手と同やり投の小椋健司選手が3位に入るなど、計12選手が入賞を果たしました。



カンセキスタジアムとちぎ

競技結果（男女総合成績）

1位	大阪府	2位	兵庫県
3位	千葉県	16位	栃木県



成年女子棒高跳優勝の諸田実咲選手の試技



成年女子走高跳2位の竹内萌選手



成年男子やり投3位の小椋健司選手



成年男子砲丸投2位の武田歴次選手



成年男子100㍍4位の水久保澁至選手（右）



レース後に支え合う選手たち



表彰式の諸田実咲選手（中）



成年男子800㍍3位の根本大輝選手（中）



日本新の選手に協同組合宇都宮餃子会から宇都宮餃子100人前プレゼント



試合後の交流



表彰式で「はいポーズ」